

## 〈解答〉

- ① 1 more  
2 ① showed ② taking  
3 あ learning about い before going  
4 ウ  
5 (1) 〔例〕 Yes, she did.  
(2) 〔例〕 They are red and green.

配点 各2点 16点満点

## 〈解説〉

## ① 〈長文和訳〉

こんにちは、みなさん。私は2年生の小野真由です。去年の11月、私たちは修学旅行で東京に行きました。今日はそのことについて話します。

初日、私たちはバスで上野に行きました。私は動物が好きで上野動物園へ行きかけたのですが、私たちはそこへは行きませんでした。私たちの担任の山野先生は「私たちの修学旅行は何かを学ぶための旅行です。東京にはよいお寺や博物館があります。私たちはそれらのうちのいくつかを訪れる予定です。あなたたちはそこでたくさん興味深いことを学べます」と言いました。

私はバスの中で考えました。「うーん、博物館はいいわ。でも私、お寺は好きじゃない。上野公園の中なら動物園のほうがA もっと おもしろいわ」その時、友達の直子が私の所へ来て「あなたはお寺に行くのが好きじゃないでしょ。歴史を知っていればそれらを楽しめるわよ」と言って、彼女の本を私に① 見せてくれました。東京の有名なお寺についての短い話をいくつか読んだ後、私はそれらのいくつかを見て楽しみました。

2日目、私たちは浅草を訪れ、私は雷門が一番気に入りました。外国からやってきた多くの人々が、そこで写真を② 撮っていて、私も1枚撮りました。この写真の門の色を見てください。赤と緑が美しいです。雷門には2つの像がありました。私はそれらの像について直子の本から学びました。それらの名前は風神と雷神です。彼らはお寺を守ります。私は直子と一緒に浅草をとっても楽しみました。

もしあなたたちが旅行を楽しみたいなら、歴史について学んでおくことが大変役に立ちます。私は始めのうちは、お寺が好きではありませんでしたが、直子が私を助けてくれて、上野と浅草の旅行を楽しむことができました。次回は、旅行をA よりいっそう 楽しむために、行く前に本を何冊か読んでおくつもりです。

- 1 <more + 形容詞 + (than ~)> 「～よりももっと…である」  
比較的つづりの長い形容詞・副詞の比較級は more をつけて表す。  
<enjoy ~ more> 「～をよりいっそう楽しむ」  
この more は動詞を修飾（説明）する働きをしている。
- 2 ① 空所を含む文は、「～と言って、彼女の本を私に見せてくれました」という意味。  
過去のことなので、過去形に変える。よって、show を showed にする。  
② 空所を含む文は、「外国からやってきた多くの人々が、そこで写真を撮っていて、私も1枚撮りました」という意味。「写真を撮っていた」という過去進行形の文にするので、ing 形に変える。語尾の e をとって taking とすることに注意。
- 3 あ 本文最終段落1文目を参照。「旅行に行くとき、歴史について学ぶことは、私たちのためにとても役に立つ」という内容になるように、learning about を抜き出す。  
い 本文最終段落最終文を参照。「もし私たちが旅行に行く前に何冊か本を読めば、旅行を楽しむことができる」という内容になるように、before going を抜き出す。
- 4 ア 本文第2段落1文目を参照。真由の学校の生徒たちは「電車」でなく「バス」で上野へ行ったので誤り。  
イ 本文第2段落2文目を参照。真由は動物が好きで上野動物園を訪れたかったと  
言っているのが誤り。  
ウ 本文第4段落2文目を参照。多くの外国人が写真を撮っていたので真由も1枚撮ったとあるので正しい。  
エ 本文第4段落5文目を参照。真由が、雷門には像が2体あったと言っているのが誤り。
- 5 (1) 「真由は旅行の1日目を楽しみましたか」という意味。  
本文第3段落最後の文を参照。真由は東京の有名な寺について話を読んだ後で、それらを見て楽しんだとある。よって、  
→ Yes, she did. (3語)  
と答える。  
(2) 「雷門の色は何色ですか」という意味。  
本文第4段落3～4文目を参照。雷門の写真を見せながら「赤と緑が美しい」と説明している。よって  
→ They are red and green. (5語)  
と答える。